

青白

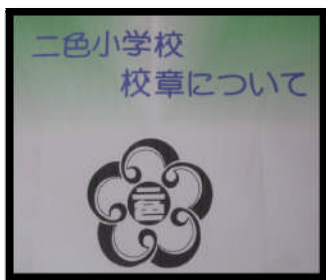
貝塚市立二色小学校 校長室だより第76号

H25年7月3日発行

貝塚市二色1-3-1 Tel 072-438-2925 Fax 438-2926

☆去る6月29日(土)、交通事故で亡くなられた 貝塚市内小学2年生のお子様のご冥福をお祈りします☆

二色小学校の校章(こうしょう)の意味を知っていますか？



～円満な成長と未来への期待をこめて～

玄関来客用の下足箱近くに左のようなパネルが展示されています。そして、この下に二色小学校の校章の意味が書かれています。読んだことはありますか？…確か、現在の中学3年生が6年生の時に、新聞の記事に『二色小学校紹介』が載ることになり、これを見つけて驚いていましたが…。

今年は25歳(1/4世紀)ですので、少しご紹介しましょう。

「校章には、波形を配している。波は言うまでもなくどのような型にもなれる可塑性に富んだ小学生の姿そのものである。また、五つの波は、五大陸にまたがる国際社会の飛躍と世界すべての人々との協調を願う輪をあらわしている。

中央に配した円は、未来に向け発展する活動源を象徴し円満な成長と将来への期待をこめてシンボルとしている。」

エピソードを紹介すると、この校章をデザインしたのは、二色小学校の初代校長であった故 安東隆(あんどう たかし)先生です。大変図工の堪能な方で、以前南小学校の校長時代には、毎月の詩と絵を「切り絵」で表現して玄関に掲示されました。子ども同様、そこで働いていた私達も毎月楽しみにしていました。「切り絵」の5,6年生の授業では基本をわかりやすく教えてくださいました。<安東先生、ありがとうございました。>

このパネル自体もおそらく先生の作品だと思います。「どのような型にもなれる可塑性(その型に変われる性質)に富んだ小学生」という言葉がいかにもものづくりをされる先生らしい言葉だと思います。そうです。子どもは、特に小学生のうちは、まだまだ子どもがどんな型になるか、本当にわかりません。一つとして同じ型はありませんし、型が決まる速さもその子その子によって違います。

最近子ども達を見ていて、(型を大人が決めすぎではないのだろうか?) (ある型になるようにと急かしてはいないか?) (叱りすぎて子どもが型を選べないのではないか?) (いろいろな型を選べるエネルギーを出せるように大人が励ましているか?)…と自分達や学校の活動をふり返ります。創立の意味を知ることはなかなかおもしろく意義多いものだと感じました。一また機会があれば、二色小学校の歴史を辿りたいと考えていますー

6月30日(日)PTAソフトボール大会が二色G・二色ふれあいGで開催されました。二色小学校チームはベスト4に残る大健闘。PTA役員さんや保体委員さんは黄色の「二色魂」Tシャツを着て応援！につぐ応援！！子ども達も来てくれました。(私も声を枯らして応援)お昼には皆でテント下でお弁当。わいわい話しながら交流も深まりました。皆さん、お忙しい中御協力ありがとうございました。『PAPA、かっこよかったね☆』

うれしい3位入賞！

